

## 地方連携で八百屋機能を再生、顧客が支える「ふれあい市場」

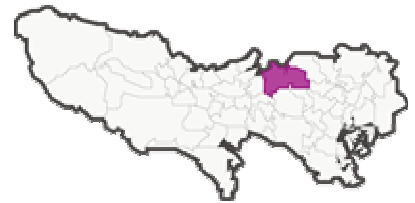
郊外への大型店の進出の影響で生鮮食品店が姿を消してしまった商店街が増える中、練馬区春日本通り商店会では福島県塙町の道の駅と協力関係を築き、米や野菜に加えて様々な物産品を仕入れて商店街の空き店舗で販売する「ふれあい市場」を、月末の2日間にわたって実施している。地方との連携で商店街に生鮮食品販売機能を取り戻して商店街の活性化を目指すこの取組は、試行錯誤を重ねて採算性を改善、4年目を迎えるに至っている。

### 東京都練馬区

総人口：706,041（人）  
世帯数：331,996（世帯）  
総面積：48.16（km<sup>2</sup>）  
人口密度：14660.3（人/km<sup>2</sup>）  
（平成22年3月1日現在）

### 春日町本通り商店会

豊島園の北に位置する商圈人口約44,000人、約40店舗が連なる商店街。  
平成3年に地下鉄12号線（現在の大江戸線）が開通してからは、ビルが林立するとともに、区間内の練馬、平和台等に大規模店舗が相次いで出店したあおりを受け、生鮮食品店が撤退していた。



### 背景ときっかけ

大型スーパーの出店が相次ぎ、商店街から生鮮食品店が撤退、買物客が離れてしまっていた練馬区春日本通り商店会では、客足を取り戻すためには新鮮な農産物が買える八百屋が必要不可欠との考えから、野菜の産直販売を行うために区が防災協定を結んでいる福島県塙町の道の駅に協力を依頼した。

道の駅に商品の調達を委託し、商店街の空き店舗を活用した「ふれあい市場」で毎月最終金・土曜日に新鮮な朝採り野菜等を販売する取組を平成18年より始めた。

### 取組内容

新鮮な農産物の販売によって商店街に人通りを取り戻そうと、毎月末に2日間、商店街にある空き店舗を活用して福島県塙町の朝採り野菜等を販売する「ふれあい市場」を開催している。ふれあい市場では、予約制で米を販売しているほか、毎回2トントラック一杯の旬の野菜や、うどんなどの加工品、草履等の雑貨など塙町の物産品を販売している。

また、現地農家を訪れる「農業自然体験ツアー」を行って塙町と地元住民の交流を推進しているほか、ふれあい市と同時に「100円商店市」を開催して、市場に訪れた買物客を商店街へと広げる試みも行っている。

名称：ふれあい市場（初開催 平成18年9月）

所在地：練馬区春日町1-11-12

面積：約12坪

取組内容：「ふれあい市場」商店会の空き店舗で毎月末に塙町の米や朝採り野菜、塙町産品等の販売を行っている。

「交流事業」塙町の農家を訪れ、休耕田での米づくりやイチゴ狩り等の農業自然体験ツアーを行っている。（会員制 19,500円/年 会員には毎年冬に40kgの米が塙町より直送される）

「100円商店市」ふれあい市場と同時開催の、参加店舗にて100円の商品を販売するイベントを行っている。

3店舗で商品を購入すると抽選に参加できる店舗ラリーも開催している

販売品：米、野菜、うどん・こんにゃく等の加工品、菓子、手作り草履・プランター等の雑貨など  
（商品の仕入れ先は塙町に限定）

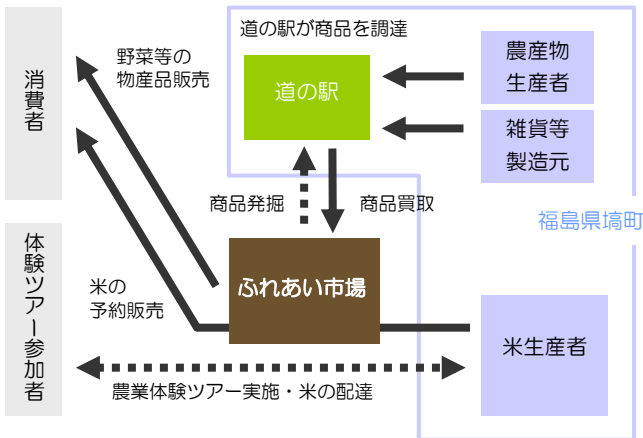
販売方法：商品調達役の福島県塙町の道の駅より商品を買って販売

開催日：毎月最終金・土曜日の2日間（8月、12月は休み）

販売員：当日スタッフ5名（アルバイト）＋ボランティア



## 事業の仕組み



※販促助成金 練馬区より 60万円/年あり



## 取組効果

- 開始当初は赤字が続いたが、試行錯誤を重ねて販売商品・コストの見直しをしたことで、3年目からは宣伝費を除いた収支は均衡で推移している。
- 毎回800~900人の顧客があり、平均客単価が1,000円ほどのイベントに成長した。
- 取組のノウハウは「運営マニュアル」として蓄積され、隣接商店街へのアドバイスに活用されている。
- 毎回多くの来街者があり、商店街の他店舗にも販促効果が出ている。
- 農業自然体験ツアーには毎年40名程度が参加しており、塙町との連携強化に寄与している。



## 取組上の工夫

- 塙町との信頼関係を重視、仕入先を塙町に限定するとともに、農業体験等により、ふれあい市場利用客にも愛着を持ってもらえるようにしている。
- 食料品だけでは飽きられるため、塙町の雑貨も同時に販売している。(商品は商店会会長が定期的に現地を訪れて発掘したもの)
- 「わけあり野菜」の小分け販売など、ニーズに合わせた商品提供や、開催のたびに家賃を支払い区議会議員の事務所を借りるなどコスト削減に努めている。
- 米は余りを出して余計なコストがかからないよう、予約販売のみで販売している。



## 今後の展望

- ふれあい市場を集荷ステーションとして野菜の宅販を行うなど、定期イベントではない、恒常的な販売体制を構築して、野菜で利益をあげられるようにしたい。



ふれあい市場（外観）



ふれあい市場（店内）



ふれあい市場（販売の様子）



塙町での農業体験ツアーの様子